

令和5事業年度

事業計画書

公益財団法人 周南市文化振興財団

令和5事業年度 事業計画書

1. 基本方針

周南市文化振興財団は地域文化振興の使命と役割を担い、指定管理者制度のもと周南市より委託を受け、平成18年度から周南市文化会館、周南市美術博物館、平成20年度から周南市郷土美術資料館の指定管理者として管理運営を行ってきた。令和3年度より新たに5年間の指定管理業務を受託し、本年は3年目となる。これまでの運営を引き継ぎ、周南市のさらなる文化活性化のためその任を果たしていく。

また平成25年4月に公益財団法人に移行し11年目となる。公益性を求められる法人として、目的に沿った法人運営の重要性を認識し、市民のニーズをいち早く取り入れ、各館の特性を生かした管理運営を行い、地域の文化活動の拠点として活動を行っていく。

事業においては、各館を中心に鑑賞機会の提供、市民文化活動の振興など幅広い文化事業を通じて、文化の普及、推進に努める。また周南市全域を対象に地域との連携を重視した活動に励み、豊かな文化環境をつくる。

財団設立以来培った実績と経験をもとに、様々なネットワークを生かして運営を強化し、利用者のサービス向上に努める。またより一層の効率化を進め、自立した経営を目指す。

新型コロナウイルス感染症については、ガイドラインに従い万全の対策を取って運営を行っていく。

2. 周南市文化会館

(1) 管理運営

開館41周年を迎える文化会館は、西日本を代表するホールとしての機能を十分に発揮し続けるために、中四国でも高い利用率と集客力を維持し、多彩で豊富な舞台公演で注目されるよう努力を続ける。周南市の文化の顔に相応しい施設として、また利用の促進を図るために、各室の環境整備や貸出備品の更新等の改善を市に積極的に提案していく。今年度は舞台照明設備の特別保守点検を実施するほか、コロナ禍でも利用者が安心して利用できるよう、多人数を同時検知できるサーモグラフィや非接触型体温計を無料貸し出しするなど工夫していく。

(2) 文化会館事業

ア. ホール事業

市民の声を生かし、幅広く質の高い舞台芸術を提供する。守りに入ることなく、さらなる工夫と熱意をもって事業の推進を図る。ニーズにあった公演をいかに効果的に組んでいくかが重要である。

クラシックでは西京コンサート「ベルリン交響楽団」を招聘するほか、「パリ管の仲間たち」と題してパリ管弦楽団のメンバーによるコンサートの開催も予定している。

安定的な人気を維持する吹奏楽では「yab吹奏楽コンサート」を、また伝統芸能では「LEO 箏リサイタル」など魅力的なラインナップで臨む。

ポップス分野では「川崎鷹也」「手嶌葵」など、子ども向けとして「プリキュアドリームステージ」「仮面ライダースーパーライブ」、その他「宝塚星組公演」など幅広いジャンルで多彩な内容を取り上げる。

イ. 企画事業

文化の普及をめざし、音楽や演劇などとの出会いを提供、生活の中に芸術文化を根付かせる。将来的にホールへの来館や文化活動への参加に結びつけるための事業として、さまざまな舞台芸術を地域や学校に届ける「移動文化教室」を実施する。多感な学生時代に本物の芸術にふれる機会を提供する「周南市中学校芸術鑑賞会」は、周南市中学校文化連盟と連携して開催する。また、ホール事業で開催するコンサートや公演などをより楽しく鑑賞するための「芸術鑑賞講座」を実施する。

その他、周南市出身の詩人、まど・みちおの世界を伝える「第28回まど・みちおコスモス音楽会」を開催。また地元芸術家を起用した独自公演として、親子で楽しめる「0歳から楽しむコンサート」を行う。

文化振興財団のサポーターともいえる会員については、継続率とともに事業への参加率を高め、舞台芸術、鑑賞芸術に対するファンづくりにつなげる。月刊紙「かるちゃあ通信・花畠」は、山口県全域を対象に幅広い文化情報を提供するとともに、市広報の紙面も文化事業普及のために積極的に活用する。

ウ. その他

子どもからお年寄りまでのあらゆる世代の事業を実施し実績を積んできた経験を生かし、地域の学校や市民センター、新聞社や放送局、地元企業など様々なネットワークを広げ、事業運営を安定させる。

ホール事業一覧

(公益目的事業1-1)

事業名	開催日	内容
宝塚歌劇星組全国ツアー公演	4月6日	宝塚歌劇星組による待望の周南公演。主演は風七瑠海、舞空瞳。
川崎鷹也 LIVE TOUR 2023	4月15日	心を揺さぶるメロディと歌詞で、今最も注目されるシンガーソングライター。
暴太郎戦隊ドンブラザーズ ファイナルライブツアー2023	5月20日	テレビ朝日系列で放送中のスーパー戦隊シリーズ劇場版。出演俳優も登場する。
西京コンサート ベルリン交響楽団	6月25日	ベルリン市民に愛されるドイツの名門オーケストラ。指揮、ソリストに元ベルリンフィルのソロ・オーボエ奏者シェレンベルガーを迎える。
しまじろうコンサート	7月2日	子ども達に大人気のキャラクターショー。
手寫葵 Concert 2023 ~Trio~	7月8日	聞き手の心を揺さぶる類い希なる歌声で、数々の主題歌・CMソングを歌う女性シンガー。
声優朗読劇	7月16日	人気声優たちによる朗読劇。
プリキュアドリームステージ	8月26日	テレビ朝日系列で放送中の人気アニメ「プリキュア」のステージショー。
LEO 箏リサイタル	9月23日	史上最年少で邦楽コンクール最優秀賞を受賞した箏奏者。卓越した技術と芸術性は圧巻。
清水ミチコ トーク&ライブ	9月~10月	百花繚乱のものまね、抱腹絶倒のネタの数々で楽しませる人気女性タレント。
杏里 ANRI LIVE 2023	10月9日	デビュー45周年を迎えたシティポップの女王。
パリ管の仲間たち	11月26日	名門パリ管弦楽団のメンバーによる珠玉のコンサート。
T-BOLAN シングル・ベストツアー	1月21日	2017年再結成された伝説のバンド。音楽史に刻まれたシングル曲のみで構成したコンサート。
yab吹奏楽コンサート	2月	全国的に大ブームの吹奏楽コンサート。
仮面ライダースーパーライブ	2月	家族揃って楽しめるステージショー。男の子に絶大な人気を誇るキャラクター。

企画事業一覧

(公益目的事業1-1)

事業名	開催時期	内容
移動文化教室	10～2月 11月 1月	市民センター、学校と連携して地域へ届ける事業。 「移動音楽教室」「地域児童劇」「新春寄席」を開催。 音楽演奏会 2地区 児童劇 2地区 新春寄席 2地区
サロンコンサート	8月20日	普段はコンサートに参加しづらい幼児ファミリー向けクラシック演奏会。地元音楽家を起用し開催する「0歳から楽しむコンサート」。一般も鑑賞可能。
第28回 まど・みちおコスモス音楽会	11月16日	周南出身の詩人まど・みちおの詩と歌で構成する心温まるコンサート。市内の幼稚園、保育園の年長児の発表と地元音楽グループの創作舞台で構成。
会員招待演奏会	1月	地元で活躍中の音楽家による演奏会。

(公益目的事業1-2)

事業名	開催時期	内容
バックステージツアー	年1回	音響室や調光室、ピンスポット室、奈落や楽屋などふだん見られない舞台裏を案内する。
芸術鑑賞講座	10月～12月	ホール事業で開催する演奏会や公演の内容を解説する講座。音楽や演劇等の楽しみ方を知ってもらう。
周南市中学校芸術鑑賞会	11月22日	周南市中学校文化連盟と共催。劇団四季のミュージカルを鑑賞。
情報紙発行 「かるちゃあ通信・花畠」	月1回	文化会館、美術博物館、郷土美術資料館の催しや自主文化事業、後援事業の案内。10,000部発行。
会員の運営	通年	会員の確保並びに運営。

3. 周南市美術博物館

(1) 管理運営

平成7年に開館した美術博物館は、本地域における文化の拠点施設としてその重責を担っている。開館28年を迎え、これまで以上に地域に密着した親しみやすい館として市民の期待に応えていくための運営を行い、諸整備を進める。

特に、県東部における、国宝が展示、保管できる登録博物館として貴重な美術作品・歴史資料を収蔵、展示することから、適正な保存、展示環境の維持管理、保安警備には万全の体制で臨む。また、より良い環境を目指すため施設の改善について市に提案し整備を進める。

グッズ売場ではオリジナル商品の販売、展覧会開催時にはそれに合わせ人気の高い商品を仕入れるなど、品揃えを工夫する。喫茶事業においても展覧会や季節に合わせたメニューの提供など、来館者のニーズに応えつつ市民や来館者にとって憩いの場、安らぎの場となるよう努める。

「美術博物館の音楽会」として親しまれているサロンコンサートについては、平成11年度から開催し好評を得ており、美術博物館に親しんでいただくひとつの機会として実施する。

新型コロナウイルス感染症については、引き続き万全の対策を講じる。

(2) 美術博物館事業

ア. 展覧会事業

周南市からの受託事業である特別展覧会と周南市美術展、しゅうなんアート・ナウ、並びに財団の特性を生かした自主事業である企画展覧会を積極的に展開する。

特別展覧会「日本の画家たち展(仮称)」では、令和3年度に新型コロナウイルス感染拡大のため開幕後すぐに中止となった「自画像展」を新たな作品も加えて再編成して開催する。笠間日動美術館のコレクションより、林忠彦の「日本の画家」に登場する画家を中心に、日本を代表する画家たちの作品を林の撮影した写真とともに展示する。

「周南市美術展」では、より多くの市民に気軽に参加できる総合美術展として一層の普及を図る。「しゅうなんアート・ナウ」は郷土で活躍する作家の新作を発表する場として、周南美術の「今」がわかる作品を紹介する。

企画展は、「アニメ化30周年記念企画 ちびまる子ちゃん展」と「岩合光昭の世界ネコ歩き2」を開催する。「ちびまる子ちゃん展」では、国民的アニメの作品世界をセル画、スケッチ画、絵コンテ、映像などで紹介する。「世界ネコ歩き」では、写真家・岩合光昭が、NHK・BSプレミアムの人気番組で訪れた世界各地の個性あふれるネコたちの写真を展示する。

イ. 企画事業

資料の収集、保存管理、調査・研究、展示公開、教育普及等が円滑に機能する運営を図る。

常設展示室については、収蔵資料を展示する「コレクション展示室」、写真家・林忠彦の業績を顕彰する「林忠彦記念室」、徳山地域の歴史を通観する「徳山の歴史」、まど・みちおの絵画作品や資料を紹介する「まど・みちおコーナー」で、それぞれの特徴を生かしながら内容の充実を図る。資料の調査・研究については、郷土に関わりのある作家や資料を掘り起こし、将来の資料収集や展覧会開催に備える。教育普及事業では、美術博物館講座として「子ども芸術ワークショップ」「美術博物館探検ツアー」などを実施し、美術や歴史さらに博物館事業全体に興味をもってもらうよう働きかける。

このほか支援組織の育成、情報の収集・提供についても積極的に推進し、地域とのネットワーク

づくりに努める。

特色のある事業については、林忠彦賞の運営を中心に、林忠彦記念室とも連携を図りながら情報発信に努め、創設時から標榜している「写真のまち・周南」の全国発信をさらに推し進める。また、「まど・みちおコーナー」を拠点に、引き続きまど・みちおを顕彰する事業や研究を推進するほか、全国への発信にも努める。

ウ. その他

美術博物館の活動に関心をもってもらうために、事業実施にあたってはマスコミ等に周知する。また美術博物館、林忠彦賞、重点作家の宮崎進やまど・みちおのホームページを管理、SNSを通じて、随時最新のスケジュールや活動状況を紹介する。

4. 周南市郷土美術資料館

(1) 管理運営

平成7年に開館した郷土美術資料館は、開館28年を迎える。画家・尾崎正章の業績を顕彰する施設として、作品の研究、保存、公開と地域文化の振興を目的に活動してきた。過去の実績のうえに、周南市美術博物館で蓄積したノウハウや永源山公園内という立地上の特色を生かし、芸術を身近に感じることができる事業運営を行う。貴重な美術作品を収蔵、展示することから、適正な保存環境の維持管理、保安警備に対して万全の体制で臨む。収蔵庫や展示室の空調設備については、市に提案して整備を進めており、今年度は改修工事が計画されている。引き続き、新型コロナウイルス感染症に対しては万全の対策を講じる。

(2) 郷土美術資料館事業

常設展は、尾崎正章の業績を顕彰するため、テーマを設けて作品を紹介する。企画展は、地域ゆかりの様々な芸術を紹介する展覧会を開催する。その他、市内の個人、団体並びに小・中・高及び幼稚園、保育園等を対象とした展覧会を誘致し、地域の芸術や造形教育の振興を図る。

施設の特性を生かし、ワークショップ、生演奏や懐かしいレコードを利用したコンサートなど、館をより身近に感じてもらう事業に取り組む。

展覧会事業一覧

(公益目的事業2-1)

事業名	会期	内容
しゅうなんアート・ナウ	4月8日 ～ 4月16日	周南市を中心に広く活動する作家の新作を一堂に展示し、地域美術の振興を図る。
第31回林忠彦賞 受賞記念写真展	5月12日 ～ 5月21日	林忠彦の精神を継承し、さらに未来を切り開く写真家の発掘をめざす林忠彦賞の受賞作品を展示する。受賞作は林忠彦コレクションの中で永久保存する。
アニメ化30周年記念企画 ちびまる子ちゃん展	6月1日 ～ 7月17日	2020年に放送開始30周年を迎えた国民的アニメ「ちびまる子ちゃん」のセル画、スケッチ画、絵コンテ、映像など約350点を展示。原作者さくらももこの直筆脚本やキャラクター設定資料、プライベート作品なども特別に展示し、作者のアニメへの思いや日々の暮らしに迫る。
岩合光昭の世界ネコ歩き 2	7月28日 ～ 9月18日	NHK・BSプレミアムの人気番組「岩合光昭の世界ネコ歩き」の写真展。世界60ヶ所以上の撮影地から厳選した個性溢れるネコたちの写真を紹介する。番組ファンだけでなく、多くの人を“岩合ネコワールド”に誘う。
周南市美術展	前期 10月11日 ～10月15日 後期 10月18日 ～10月22日	周南市に在住、または通勤・通学・文化講座・文化団体に所属する人を対象とした総合美術展。平面、立体、書、写真の4部門で作品を募集する。
周南市学校美術展	11月10日 ～ 11月12日	周南市の幼稚園・保育園、小中学校の園児、児童、生徒による選抜美術展。
日本の画家たち展 (仮称)	11月22日 ～ 1月21日	令和3年度に新型コロナウイルス感染拡大のため開幕後すぐに中止となった「自画像展」を新たな作品も加えて再編成して開催する。 笠間日動美術館のコレクションから日本を代表する画家の作品を紹介する。画家たちの作品とともに、林忠彦が撮った「日本の画家」の写真も展示。

企画事業一覧

(公益目的事業2-1)

	事業名	開催時期	内容
常設展示室	コレクション展示室	通年	収集資料及び関連資料の展示 企画展示室を補う第二会場
	林忠彦記念室	通年	林忠彦の芸術と生涯を恒久的に顕彰 オリジナルプリントの展示替
	徳山の歴史	通年	特設コーナーの運営 実物資料の展示替
	まど・みちおコーナー	通年	まど・みちおの芸術を顕彰 絵画作品、資料の展示替

(公益目的事業2-2)

	事業名	開催時期	内容
	資料の調査・研究	通年	美術博物館資料の調査と研究 資料の研究成果の発表、紀要の作成
	研究成果の蓄積・活用	通年	資料調書・台帳の整備、収蔵目録の作成 資料の貸出、著作権の管理

(公益目的事業2-3)

	事業名	開催時期	内容
	美術博物館講座	随時	子ども芸術ワークショップ 美術博物館探検ツアー (美術博物館の裏側を探検し魅力をPR) 各種講座の開催 (美術・歴史講座、まど・みちおを語る講座等)

(公益目的事業2-4)

	事業名	開催時期	内容
	林忠彦賞の運営	通年	林忠彦の精神を継承し、写真界で活躍する作家の発掘を目指す。全国発信事業 林忠彦記念室と一体的な運営を図る